

# 緑が丘

校訓  
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」  
学校教育目標  
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校  
学校だより第14号  
(令和5年9月)  
文責 西澤 庄藏



## 長崎に原爆が炸裂してから78回目の夏を迎え、今年度も平和祈念集会を行いました。

9/8(金)(前回お伝えしたとおりの経緯から)遅くなりましたが、平和祈念集会を実施しました。これまでの平和学習の集大成として生徒発表を中心に構成された集会としました。

学年ごとにテーマが設けられ、1年生は原爆について、2年生は沖縄戦について、3年生は修学旅行で訪れた大刀洗平和記念館での学びから特攻隊について、各々の調べ学習の成果を発表しました。中でも修学旅行で引率したこともあり「頓田の森の悲劇」の語りは、一瞬にして幼い命が奪われる様子に、「戦争あるまじき」の思いが募ったのは私だけではなかったはずです。さらに、実行委員総出での朗読もあり、当時の戦時体制も知ることができました。

集会の最後は、田平中学校独自の平和宣言を決議し、締めくくりとしました。

### 【田平中学校平和宣言(抜粋)】

- 一、私たちは、78年前の戦争の悲惨な現実を語り継ぎます。
- 一、私たちは、長崎県外や世界にも関心を持ち、学校や学級、地域に平和をつくり出す努力をします。
- 一、私たちは、全ての命を大切に、助け合います。

2学期も、このことが遵守できるよう、人権学習にも力を入れて取り組んでいく決意を新たにしました。総じて、戦争の悲惨さを知り、後生に伝えていくきっかけとなった有意義な時間でした。



高校生平和大使の活動スローガン「微力だけど無力じゃない」の如く手応えのある発表でした。また、実行委員の前日準備、当日運営も光るものでした。

### 【折々の風景から】

2学期はじめに当たり、現在、ミニギャラリーに佐世保特別支援学校北松分校小学部・中学部(以下、「北分」)の夏休み作品が展示されています。作品を鑑賞するにつけ、そのひたむきな頑張りを察し、心を奪われ、掲載に至りました。ちなみに、田平中学校は、文化祭・合唱コンクールの機会に夏休み作品展を兼ねた展示の部として保護者の皆様にもご覧いただく予定です。今しばらくお待ちください。



「北分」との共同事業4年目。より効果的な教育活動を目指して事業ごとにマイナーチェンジを図っている最中です。次は地震を想定した避難訓練を共同事業として行う予定です。同じ学舎にある学校として特性を踏まえて「できることを」「できることから」進めたいと常々思案しています。

改めて田平中学校の文化祭・合唱コンクールは10/20(金)開催予定です。期日が近まりましたら、この紙面でも詳細についてお知らせいたします。「芸術の秋」を保護者の方々にもお裾分けできるよう生徒の頑張りを支援したいと思います。その節は、どうぞ、ご来校のほど、お願いいたします。